



一般社団法人

日本アカデミック・ディテリング研究会

1

# Newsletter 2026

2026  
July

## 第9回日本アカデミック・ディテラー養成プログラム 「基礎薬学の臨床応用」の研修を行いました

新規受講一括申込割引  
(会員限定) 始めました!

JAD

本コース開始時  
のみ受付  
お見逃しなく!

2026年  
7/5日  
12:30~17:30

Zoom

第9回アカデミック・ディテラー養成プログラム  
基礎薬学の臨床活用

テーマ: 2型糖尿病

申込期間: 5/5~6/5

受講料: 7,000円(会員)  
12,000円(非会員)

★新規受講一括申込割引 (会員限定のみ)  
(第9回全4コース)  
20,000円(会員)

定員: 50名  
申し込みサイト:  
<https://jpacademic-detailing.com/>

※新着情報をご確認ください!

事前に講義動画配信  
化学構造式の正しい  
薬理作用の正しい  
薬物動態の正しい

同時開催  
事前動画・講義1時間程度  
基礎薬学レクチャー  
(認定者のみ更新5単位付与)

認定者: 3000円  
会員: 4000円  
非会員: 6000円

日時 2026年7月5日(日) 12:30~17:30

開催形式 Zoom

参加者 26名 (レクチャー参加 24名)

(病院薬剤師 10名) レクチャー (病院薬剤師 10名)

(薬局薬剤師 16名) (薬局薬剤師 13名)

(その他 1名)

### テーマ: 2型糖尿病 プログラム

オーガナイザー: 上田 昌宏

講義1「アカデミック・ディテリングとは」小茂田 昌代

講義2「糖尿病薬の薬理作用機序」斎藤 顕宣

講義3「糖尿病薬の薬物動態比較」宮崎 篤志

講義4「化学的な視点から見る糖尿病薬」清水 忠

SGD1「それぞれの糖尿病薬の特徴をまとめよう」

SGD2「それぞれの糖尿病薬の特徴を共有して、

適する患者、適さない患者を考えよう」

成果発表・総合討論

### Pick up! スモールグループディスカッション

SGD1: 1班(インスリン イコデク)、2班(エンパグリフロジン)、3班(イメグリミン)、4班(チルゼパチド)、5班(グリメピリド)、6班(リナグリプチン)について、課題プロファイルシートの各観点を参考に、インタビューフォームから該当する箇所を探して書記が転記しながら、意見交換を行った

SGD2: 各班から1名ずつ集まり、まずは各班で検討した薬剤の特徴について共有した。そして、各薬剤の最も適している患者プロファイル、避けるべき患者と薬学的根拠、同効薬との差別化ポイント、30秒で伝える処方提案キーマッセージを発表した

### 課題プロファイルシート抜粋

| 薬剤プロファイルシート 基礎薬学コース (化学・薬理・薬物動態・製剤) |                                |                                                                                                                                                  |
|-------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 観点                                  | インタビューフォーム記載内容 (薬理の観点、記載を転記)   | 座席から理解するポイント (ポイントに当てて転記・記入せよ)                                                                                                                   |
| 基本情報                                |                                |                                                                                                                                                  |
| 製剤情報                                |                                |                                                                                                                                                  |
| 化学構造・物理化学的性質                        |                                |                                                                                                                                                  |
| 化学構造式 (記載または転記)                     |                                | ① 特徴的な官能基をすべて読み、官能基を記す<br>② 官能基が薬物動態に与える影響を記す(例: 親水性側鎖 → 脂溶性 ↑ → 分布容積 ↑、中親水性側鎖 → 脂溶性 ↓ → 分布容積 ↓、中親水性側鎖 → 脂溶性 ↓ → 分布容積 ↓、中親水性側鎖 → 脂溶性 ↓ → 分布容積 ↓) |
| 分子式                                 | $C_{10}H_{18}N_4O_4 \cdot HCl$ | ③ 側鎖に注目して、この薬剤に特有の構造上の特徴は何か? (分子量 > 500、Lipinskiの法則や大きな分子 (ペプチド・糖質) の性質から考えてみることもよい)                                                             |
| 薬力学 (PD)                            |                                | 作用機序の① 上流 (受容体・酵素) から下流 (細胞内) まで整理する<br>→ 作用機序に注目して、この薬剤に特有の構造上の特徴は何か? (分子量 > 500、Lipinskiの法則や大きな分子 (ペプチド・糖質) の性質から考えてみることもよい)                   |
| 薬理作用の原理                             |                                | → その薬理作用の薬理作用の原理は何か? (分子量 > 500、Lipinskiの法則や大きな分子 (ペプチド・糖質) の性質から考えてみることもよい)                                                                     |

### 研修会を終えて

・インタビューフォームをじっくりと読み込み、プロファイルごとに必要な記述内容を抽出した上で、それらについて科学的な考察を行いました。当日は活発な議論が交わされ、チューターからの助言もあったことで、基礎薬学が臨床上的の問題解決や、様々な原理・現象の理解にどうつながるのかを、具体的にイメージしてもらえたかと思います。

### 参加者の声

インタビューフォームをここまで活用した経験がなかったため、正直掴みきれず終わってしまった部分もあります。しかし構造式や腎排泄肝代謝といった観点から処方提案を考える、という視点はとても勉強になりました。

基礎薬学的な観点は、他職種にはないものであり、特にスペシャルボリュレーションの患者の薬剤管理では重要な考え方だと思います。

お申込みはこちらから→

第9回 日本アカデミック・ディテラー養成プログラム (web)

テーマ: 2型糖尿病

日時: 7月5日(日) 基礎薬学 8月2日(日) 論文吟味

9月6日(日) 処方提案 10月4日(日) コミュニケーション

### 次回研修会のお知らせ



<https://jpacademic-detailing.com/>